



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月28日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL http://www.koeichem.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)津田 重典
 問合せ先責任者 (役職名)理事経理室長 (氏名)浜辺 昭彦 (TEL)03(6837)9304
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 4,273 | 13.3 | 338 | 303.2 | 441 | — | 4,632 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 3,771 | △12.6 | 83 | △40.6 | 15 | △91.7 | △152 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 189.39 | — |
| 29年3月期第1四半期 | △6.24 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 30,150 | 19,020 | 63.1 |
| 29年3月期 | 23,969 | 14,487 | 60.4 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 19,020百万円 29年3月期 14,487百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 8.00 | — | 30.00 | — |

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合の実施を予定しており、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当合計は、「—」として記載しております。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,300 | 2.2 | 400 | △28.3 | 500 | 5.3 | 4,500 | — | 183.97 |
| 通期 | 17,000 | △1.6 | 1,000 | △28.7 | 1,200 | △13.7 | 5,000 | 340.5 | 1,022.07 |

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2 平成30年3月期業績予想(通期)の1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期 1 Q | 24,500,000株 | 29年3月期 | 24,500,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期 1 Q | 39,880株 | 29年3月期 | 39,880株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期 1 Q | 24,460,120株 | 29年3月期 1 Q | 24,463,075株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（株式併合後の業績予想及び配当について）

当社は、平成29年6月23日開催の第156期定時株主総会において、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株に併合を実施する旨が承認可決されております。

なお、株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期の業績予想（通期）、期末配当予想は以下となります。

- ・平成30年3月期業績予想（通期） 1株当たり当期純利益：204円41銭
- ・平成30年3月期（予想） 1株当たり期末配当金：6円00銭（記念配当2円00銭を含む）

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | P. 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | P. 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | P. 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | P. 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 6 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | P. 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、個人消費の回復、設備投資の増加など内需の一部に改善の兆しがみられ、景気は緩やかに回復しました。輸出は、中国などアジア向けが伸び悩んだものの、欧州、米国向けが増加し全体を押し上げました。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関連では機能性化学品需要が堅調に推移しましたが、化成品関係は関連業界需要が伸び悩みました。

このような情勢のもとで、当社は、一層のコスト削減に取り組むとともに、売価是正、拡販に注力し、収益確保に努めました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ13.3%増収の42億73百万円となり、営業利益は3億38百万円（前年同四半期比303.2%増）、経常利益は4億41百万円（前年同四半期は15百万円の利益）となりました。四半期純利益につきましては、大阪工場に係る譲渡関連損益63億71百万円を特別利益に計上した結果、46億32百万円（前年同四半期は1億52百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金及び棚卸資産が減少しましたが、大阪工場土地売却代金の入金により、前事業年度末に比べ53億94百万円増加の166億47百万円となりました。

固定資産は、ファイン製造設備新設などにより、前事業年度末に比べ7億86百万円増加の135億3百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ61億80百万円増加の301億50百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金は減少しましたが、設備関係未払金及び未払法人税等の増加により、前事業年度末に比べ15億76百万円増加の85億91百万円となりました。

固定負債は25億38百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円増加しました。

この結果、負債合計は111億30百万円となり、前事業年度末に比べ16億48百万円増加しました。

(純資産)

純資産は、大阪工場土地の売却による特別利益の計上により、前事業年度末に比べ45億32百万円増加の190億20百万円となりました。自己資本比率は、前事業年度末60.4%から63.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、平成29年5月16日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 307 | 552 |
| 売掛金 | 4,917 | 4,477 |
| 商品及び製品 | 2,946 | 2,403 |
| 仕掛品 | 880 | 877 |
| 原材料及び貯蔵品 | 665 | 767 |
| 預け金 | 500 | 6,900 |
| その他 | 1,035 | 668 |
| 流動資産合計 | 11,252 | 16,647 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 3,190 | 6,542 |
| 機械及び装置（純額） | 1,757 | 2,765 |
| 建設仮勘定 | 4,340 | 312 |
| その他（純額） | 1,044 | 1,295 |
| 有形固定資産合計 | 10,333 | 10,916 |
| 無形固定資産 | 49 | 47 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券他 | 2,338 | 2,543 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 投資その他の資産合計 | 2,333 | 2,539 |
| 固定資産合計 | 12,716 | 13,503 |
| 資産合計 | 23,969 | 30,150 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,510 | 2,346 |
| 短期借入金 | 1,840 | 830 |
| 未払法人税等 | 488 | 2,074 |
| 賞与引当金 | 122 | - |
| 設備停止引当金 | 271 | 120 |
| その他の引当金 | - | 44 |
| その他 | 1,783 | 3,175 |
| 流動負債合計 | 7,015 | 8,591 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,722 | 1,698 |
| 設備停止引当金 | 300 | 292 |
| その他 | 443 | 547 |
| 固定負債合計 | 2,467 | 2,538 |
| 負債合計 | 9,482 | 11,130 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,343 | 2,343 |
| 資本剰余金 | 1,551 | 1,551 |
| 利益剰余金 | 9,167 | 13,555 |
| 自己株式 | △11 | △11 |
| 株主資本合計 | 13,049 | 17,437 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,438 | 1,582 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,438 | 1,582 |
| 純資産合計 | 14,487 | 19,020 |
| 負債純資産合計 | 23,969 | 30,150 |

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,771 | 4,273 |
| 売上原価 | 2,947 | 3,238 |
| 売上総利益 | 824 | 1,034 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 発送費 | 107 | 109 |
| 給料手当及び賞与 | 233 | 214 |
| 退職給付費用 | 18 | 16 |
| 試験研究費 | 210 | 212 |
| その他 | 171 | 144 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 740 | 696 |
| 営業利益 | 83 | 338 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 23 | 25 |
| 受取補償金 | - | 76 |
| 為替差益 | - | 0 |
| 雑収入 | 2 | 8 |
| 営業外収益合計 | 26 | 110 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 2 |
| 固定資産除却損 | 8 | 5 |
| 為替差損 | 83 | - |
| 雑損失 | 1 | 0 |
| 営業外費用合計 | 95 | 7 |
| 経常利益 | 15 | 441 |
| 特別利益 | | |
| 大阪工場譲渡関連損益 | - | 6,371 |
| 特別利益合計 | - | 6,371 |
| 特別損失 | | |
| 控除対象外消費税等 | - | 63 |
| 固定資産整理損失 | 117 | 47 |
| 減損損失 | 118 | - |
| 特別損失合計 | 236 | 111 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △221 | 6,701 |
| 法人税等 | △69 | 2,069 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △152 | 4,632 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。